

地方創生推進交付金事業に係る効果検証

⑨【達成度評価】欄
⑦「平成29年度のKPI値」に対しての平成29年度の達成度評価を下記により記載しています。
◎＝指標値を達成
○＝指標値の約7割以上達成
△＝指標値の約5割以上達成
▼＝指標値を達成していない

(交付金対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	KPI (H29年度)	H29年度	実績	達成度評価	成果分析・今後の展望	外部有識者からの評価・意見	総合戦略のKPI達成に・有効・有効でない	外部有識者からの意見
A	産官学連携まち・海・里山創生事業	【P66・67:②-1】 泉南農業塾運営事業 【P66・67:②-1】 担い手集積推進事業 【P66・67:②-1】 砂栽培プラント展示事業 【P66・67:②-2】 水産資源再生事業 【P66・67:②-3】 泉南観光資源開発事業	産業観光課	経営の自立に寄与するブランド養殖アナゴ育成	0 円	240,000 円	307,393	円	◎	平成30年度までは、PR目的にふるさと納税返礼品として提供し、認知度を上げていく。 平成31年度からは、PR目的を経営目的に転換し、現施設での経営可能数量等を基に経営計画書を策定し、売上額を増やしていく。	A委員	有効	アナゴ育成に関しては、水産資源再生に係る新しいブランド化及び経営の自立化に向けて、前進している様子が伺える。産業及び雇用の創出に繋がり、総合戦略の達成目標であるアナゴ養殖技術者の育成に有効であると判断される。
				※KPIはアナゴの売り上げ額							B委員	有効	
				砂栽培技術を有する泉南農業の担い手の育成	0 名	5 名	2 名		▼	農業塾講師との協議を踏まえ、効率的な人材育成は年間5名程度が最適としており、今後も引き続き5名程度を育成していく。	A委員	有効	砂栽培に関しては目標値の半分以下であり、昨年度からの改善は見られない。他の農業関連の施策と併せて支援体制の改善が求められる。
				※KPIは担い手の育成人数							B委員	有効	高床なので高齢者・障害者などでも栽培しやすいなどの砂栽培のメリットをもう少し打ち出しながら担い手の幅を広く募集すべきか。
				農業公園「花咲ファーム」を核とした農水産観光の体験機会の提供	0 人	1,500 人	1,609	人	◎	より多くの参加者をイベント等に集客できるよう、内容の充実とPRを展開していく。	A委員	有効	花咲きファームの活用に関しては様々なイベントが催され多くの参加者が見られる。泉南市のブランド戦略である「花笑み・せんなん」の推進に寄与する取り組みであり、今後もさらなる活動が期待される。
				※KPIは体験者数							B委員	有効	